

16mm厚品

EX

下地・工法

S造(ALC厚100mm挿入筋・ロッキング)
金属胴縁工法

留付方法

金具

張り方向

縦

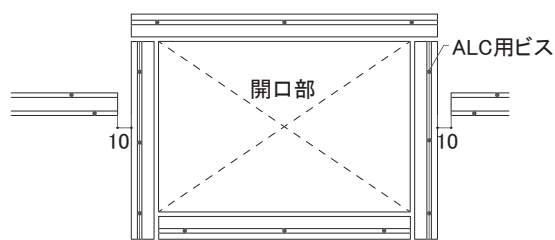
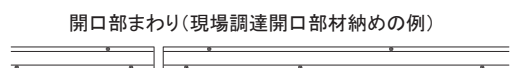
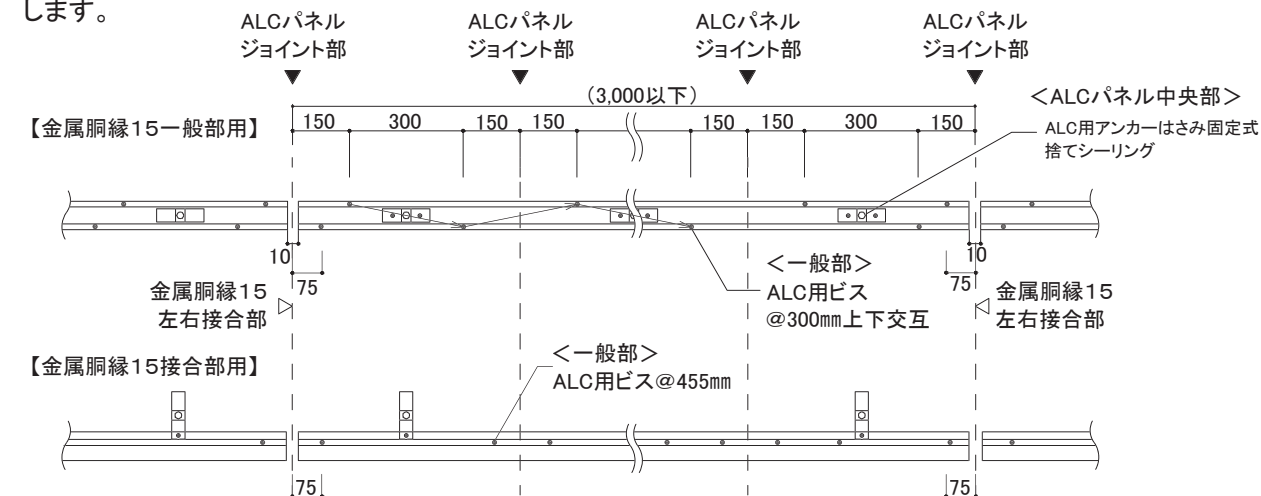
胴縁組

横胴縁@606mm以下

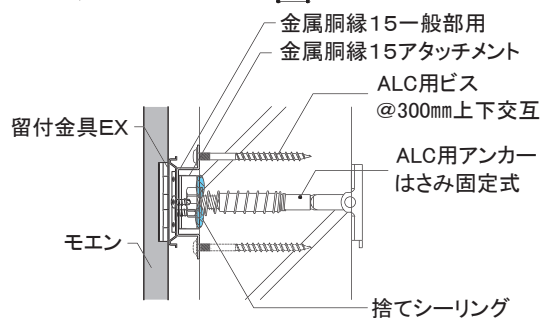
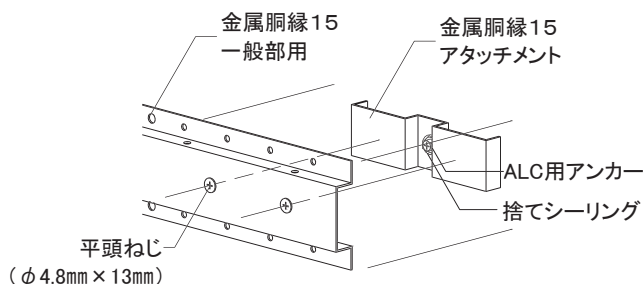
2) 胴縁概要図

挿入筋構法

- アタッチメントをALCパネル1枚につき中央部1ヶ所に、ALC用アンカーで留め付けます。原則ALC用アンカーははさみ固定式で取り付けますが、最低1ヶ所はALC用アンカーはさみ固定式を使用し、屋内側に躯体や内装材があり施工できない場合は、ALC用アンカーねじ込み式とします。
- ALC用ビスを用いて、金属胴縁15一般部は上下交互に300mmの間隔で、金属胴縁15接合部用は455mmの間隔で各金属胴縁のビス孔大(φ6.5mm)に留め付けます。ただし、ALCパネル端部から75mm程度の位置にALC用ビスを1本増し打ちします。
- 出隅部・開口部まわりの金属胴縁15は、ALC用ビスで留め付けます。
- ALC用アンカーでALCを貫通させた部分の周囲には捨てシーリングを施工します。
- ALC用アンカー・ビスの設定は物件ごとに既存壁に対するアンカー・ビスの引っ張り荷重確認を行い決定します。



※開口部まわりは、ALC用ビスで留め付けます。



ALCパネル中央部(1ヶ所/枚)		一般部
ALC用アンカー (はさみ固定式)	ALC用アンカー (ねじ込み式)	ALC用ビス (ねじ固定式)
ITハンガー	エーエルシーアンカー AXタイプ	ALCドライブ

■縦張り金具工法用補助部材

